

10月も終盤に入りました。秋空の下、吹く風の心地良さを感じながら、子ども達は毎日元気いっぱい戸外での活動を楽しんでいます。

さて、先日、熊本県環境生活部環境局 環境立県推進課から講師の方をお迎えし、『水のお話し会』を開催しました。これは、熊本地域の幼児を対象に、【水に親しみ、水に対する関心を高め、身近な水の無駄遣いに気付き、節水について意識を高めるための啓発を行う】ことを目的としている県の事業です。参加した年長児は、講師の先生から熊本の地下水について話を聞いたり、実際にペットボトルを使った濾過実験を見たり、気になることは質問する等有意義なひとときを過ごしました。

園では「必要なときにはたっぷり使わなければならないときもあります。そのためにも日頃は無駄遣いをしないようにしましょう。」と子ども達に声を掛け、『節水』に取り組んでいます。

今回のお話し会を通して、子ども達は改めて「なぜ節水が必要なのか」を再確認することができました。下記に『お話し会』の内容を記載しています。ご家庭でも一人ひとりができることを話し合い、みんなで継続していきましょう。

「あめのみずは、きれいにしないでいいの？」という子どもからの質問。

・ペットボトルによる泥水の濾過実験に見入る子ども達。
「なかなかきれいなみずがでてこないね。」



『水のお話し会』で学んだこと

◎私たちの生活と水について

クイズ1

Q: 私たちは、ひとりで1日にどれくらいの水を使うのでしょうか？

A: 2ℓのペットボトル 165本

クイズ2

Q: 私たちが使う水は、どこにあった水でしょうか？

A: 地下にあった水＝地下水

◎地下水について

・降った雨が地面からしみこみ、砂利や砂などの地層を通して石の隙間に溜まったものが「地下水」

クイズ3 (※地下水を水資源としている熊本の場合)

Q: 今、私たちが使っている水は、いつ降った雨が地下水になったのでしょうか？

A: 早くて20年～遅くて80年

★降った雨が地下水になるまでは時間がかかるので、どんどん使ったら水がなくなる

だから

水を大切にしましょう＝節水

◎水を大切に(節水)方法について

<手洗い・うがい>……蛇口をこまめに閉め、うがいはコップを使いましょう

<顔洗い>……洗面器で水を溜めて洗いましょう

<トイレ>……大・小のレバーを上手に使いましょう

<洗濯>……お風呂の残り湯を上手に使いましょう

